

▶一般質問



精華町に関する学習は

A 社会科副読本「わたしたちの精華町」で学ぶ



社会科副読本「わたしたちの精華町」



村田周子議員

Q 精華町に関する学習は、
A 社会科副読本「わたしたちの精華町」で学ぶ。
Q 子どもたちが地域に誇りと愛着を持つ教育の取り組みは。
A 様々な教科でして、①企業による出前授業は、理科推進委員会で計画し、理科の単元に合わせて依頼②企業訪問、職場体験。

Q 子どもたちの精華町に関する学習は、
A 本町教育委員会が授業は、理科教科でして、①企業による出前授業は、理科推進委員会で計画し、理科の単元に合わせて依頼②企業訪問、職場体験。

重大事件防止対策進む

【概要】特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例改正
【答】監査委員の機能強化は、監査委員の報酬を増額する。
【問】公認会計士にお願いし、より一層安定的にする。
【答】他市町の状況は、平成29年4月から報酬70万円は安いと思うが、どうか。
【問】監査委員の増員は、50万円から70万円で、妥当だと考える。
【答】監査委員の増員は、現在は考えていな
い。監査委員の増員は、50万円から70万円で、妥当だと考える。

【全員賛成可決】
【概要】職員コンプライアンス宣言を定めること
【答】職員倫理に関する町民への誓いを明文化するもの
【問】職員の倫理条例としてなぜ制定しないのか。
【答】まず宣誓書と署名を進める。
【問】署名は年一回なのか。また反対者にはどうするのか。

【反対討論】
【概要】介護保険条例改正
【答】一般的職員の意見は、新たな運営期間に入ることに伴い、保険料率を据え置き、算定に関する基準を変更する。
【問】新規事業に投入することに伴い、保険料率を据え置き、算定に関する基準を変更する。
【答】第1号被保険者が納付した保険金から、約3億5000万円の剩余金が発生した。保険料が原資であるから、引き下げに使うべき。
【問】介護保険では、今年度の見込みを入れると3億円以上の剩余金が出る。保険料を納めた高齢者に還元し、保険料を引き下げるべきだ。

【賛成討論】

コロナ対策を中心とした3年度予算を始め3年度予算を徹底審議

予算委員会

3年度一般会計予算

委員会の意見

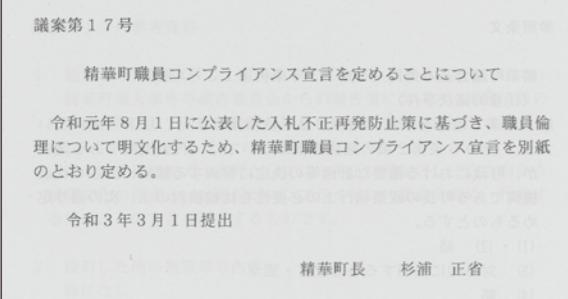
可決した予算・税金の使い方に委員会の注文

予算決算常任委員会の5日間の審議や、町民の皆さまからの意見、コロナのために「まちカフ工」で直接意見が聞けなかった代替え措置のアンケートなどの意見を踏まえ、一般会計予算の執行に際して、12項目にわたり町長に注文をつけました。

■ふるさと納税・企業版ふるさと納税の寄付金の活用事業を検証し、町の魅力発信の創意工夫に努められたい。

■集会所の耐震化・バリアフリー化は実態を調査し、計画的に環境整備に努められたい。

■職員研修は、コンプライアンス研修を含め、計画的に幅広く実施研修を行い人材育成に努められたい。



■子育て支援センター買戻し用地は、早期に子育て・保育ニーズに沿った事業のために活用されたい。

■新型コロナワイルスワクチンの、円滑な接種と、かかりつけ医療機関も含めた接種体制を図られたい。



■ごみ収集処理事業については、コロナ禍の影響でごみ増量により職員の作業時間が増加していることから、住民へのごみ減量の啓発と職員の負担軽減などの対応を図られたい。

■食べていける認定農家を目指して、担い手育成、後継者育成、特産品開発拡大など連動した更なる支援、仕組づくりを構築されたい。



■森林管理保全基本指針に基づいて、森林税交付金を活用し、効果的な環境保全に努められたい。

■道路の維持管理・樹木の植栽後の保全は、修繕や改修など財源を確保し、計画的に町道の環境整備に努められたい。

■移動図書館は、利用者へのコロナ感染防止策や車両運行の安全確保、更なる利用者増の効果的な取り組みに努められたい。



■GIGAスクール構想のICT教育を進めようとして、児童生徒がタブレット端末を有効に活用できるよう、教職員の指導体制や児童生徒を支援するための、人的配置を含めたサポート体制の充実に努められたい。

■読書推進事業は、若い世代も含め様々な世代に向けた魅力的な事業展開などの、更なる充実に努められたい。

2年度補正	3事業2907万円	概要
一般会計	地元要望もあり、通学路を拡幅する。歩行者や車両の安全確保。	3事業2907万円

付金(介護努力報酬交付金)の評価は、健康づくりを評価している。	【賛成討論あり】	2億4001万円
【全員賛成可決】	【全員賛成可決】	インセンティブ交換

返礼品代、クラウドファンディング経費、PR経費で企業ふるさと納税も含む。	【集会所の耐震化・バリアフリーへの見通し】	答
できる限り早い段階です。現状は、2自治会から問い合わせがある。	【消防団員確保のため50歳定年制撤廃の考え】	答

早くなる。	消防指令室	事業
【消防団員確保のため50歳定年制撤廃の考え】	【消防団員確保のため50歳定年制撤廃の考え】	答

地域担い手育成事業の減額はなぜか。担い手候補が1名になったからである。	中学校給食に向けた販路拡大・生産体制は、地域担い手候補が1名になったからである。	問
【中学校給食に向けた販路拡大・生産体制は、地域担い手候補が1名になったからである。】	【中学校給食に向けた販路拡大・生産体制は、地域担い手候補が1名になったからである。】	答

時代にあわない。考え方。	町奨学生給付は、時代にあわない。考え方。	教
【町奨学生給付は、時代にあわない。考え方】	【町奨学生給付は、時代にあわない。考え方】	答

議会だより せいか No.172

介護保険料を「ラ・オ」統一・据え置く

常
任
委
員
会

民生環境

介護保険条例改正

【概要】

P 15 参照

今年度介護保険決算の見通しは。

答 8000万円から

9000万円の黒字予想である。

問 剰余金も被保険者が納めた介護保険料から出た。還元して保険料を引き下げるべきだ。

答 介護の需要が年々増加している。保険料を来期も今期と同じようにして安定運営したい。

問 保険料の伸びを抑える一番重要な施策は、介護予防だ。地域

答 950円(平均・月額)でささらに1年間の追加が認められる。

問 介護の伸びを抑える一番重要な施策は、介護予防だ。地域

答 950円(平均・月額)でささらに1年間の追加が認められる。

一目でわかる審議結果

3月会議

【○賛成・●反対】

◎賛否が分かれた議案

議案名と内容	掲載ページ	討論結果	精華未来										共産党			爽風会			公明党			せい風会		
			岡本	奥野	森元	塩井	松田	佐々木	坪井	柚木	安宅	森田	山下	村田	今方	内海	青木	山本	宮崎					
75歳以上の後期高齢者医療費自己負担を2割に引き上げないことを求める	—	否決	●	●	●	●	○	○	○	○	●	●	●	○	●	●	○	○	●	○	○	●		
ジェンダー平等社会の実現のための諸制度整備を求める	—	否決	●	●	●	●	○	○	○	○	●	○	●	●	●	●	○	○	●	○	○	●		
3年度一般会計	15 17	✓ 可決	○	○	○	○	●	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
3年度介護保険事業特別会計(28億6366万円)	—	✓ 可決	○	○	○	○	●	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
3年度国民健康保険病院事業特別会計	15	✓ 可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○		
条例改正	15 18	✓ 可決	○	○	○	○	●	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		

◎全員賛成で可決した議案

人事	教育委員会委員の任命同意(岡島純子氏)	掲載ページ	—
	監査委員の選任同意(井上直樹氏)	—	
補正予算	2年度一般会計第7号(4事業 2500万円など)	—	
	2年度一般会計第8号(3事業 2907万円など)	16	
	介護保険事業特別会計第3号(介護給付費準備基金積立金追加 2億4001万円など)	16	
特別会計予算	3年度国民健康保険事業(31億9762万円)	—	
	3年度後期高齢者医療(6億60万円)	—	
	3年度水道事業(収益的収入11億7822万円 収益的支出11億7822万円 資本的収入3億1715万円 資本的支出4億7132万円)	—	
	3年度公共下水道事業(収益的収入18億2547万円 収益的支出18億2547万円 資本的収入10億4084万円 資本的支出11億694万円)	—	
条例改正	特別職の職員で非常勤の者の報酬及び費用弁償に関する(監査委員(代表)の報酬を増額)	15・18	
	指定居宅介護支援事業者の指定に関し必要な事項並びに指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準を定める(指定居宅介護支援事業者の管理者の要件緩和、要件の適用猶予)	18	
	町立児童遊園の設置及び管理に関する(里地区に所在する区立児童遊園を町立児童遊園として設置など)	—	
	国民健康保険条例等(新型コロナウイルス感染症の定義規定の見直し)	—	
条例廃止	社会教育指導員設置条例及び社会教育指導員の報酬及び費用弁償(社会教育指導員が特別職に該当しなくなったため)	15・18	
認定	町道路線の認定(4路線を町道に認定)	18	
条例改正	町議会委員会(常任委員会を3から2とするもの及び委員の数等を変更するもの)	—	
規則改正	町議会会議(議員の欠席理由を明確に定めるもの(出産・育児・介護・看護など))	—	
その他	職員コンプライアンス宣言を定める(職員倫理に関する町民への誓いを明文化)	15・18	

建設産業

町道路線の認定

【概要】

P 15 参照

道路が認定された

後の開通予定日は。

現状通行可能な状態であり、議会承認の

幅の狭い1.5mで町

道路の開発の場合

は、もう一方、既設の

道路に避難通路をつなぐことから避難

道認定される根拠は、翌日に告示となる。

袋地の開発の場合

は、もう一方、既設の

道路に避難通路をつなぐことから避難

道認定される根拠は、翌日に告示となる。

社会教育指導員設置条例及び費用弁償条例廃止

社会教育指導員設置条例及び費用弁償条例廃止

【概要】

P 15 参照

条例廃止の経緯は。

昭和48年頃から国

の補助事業で、非常勤

の特別職の取り組みが

あつたが、平成9年度

に終了した。また、新

たな補助事業があるか

もしないので残って

いたが、会計年度任用

職員の厳格化により特

別職から外れたため廢

止とする。

の路線を町道に認定す

るもの。

開発行為に伴い、道

路施設の引き継ぎを受

け、法の規定によりそ

の路線を町道に認定す

るもの。

意見 重大事件等調査委員会からの改善内容について、特に業務執行上の課題に対しては早急に対応を図られたい。

その後

入札不正再発防止策に基づき、最低制限価格計算方法の見直し等をはじめ、令和2年度においては、入札情報の管理の徹底、第三者による入札監視委員会等を通じた入札契約事務の事後監視や組織の見直し、さらには、職員研修の継続実施と職員行動指針の徹底、職員倫理の向上など、早急に対応すべき内容を重点的に実施しています。また、中長期的課題として提言されている内部統制の整備についても引き続き対策を講じていきたいと考えています。

意見 集会所建て替えの自治会負担については歴史的処理を含めて人口、財政面から総合的に整理し、住民から不公平感を持たれないように、わかりやすい明確な基準を図られたい。

その後

令和3年度の改正を目指して、分担金に関する条例、規則、要綱等を一括して見直し、住民から見てわかりやすい体系、用語等に整理する作業を進めています。また、見直しにあたっては世帯数や財政事情など、自治会により様々に異なる事情を考慮しつつも、可能な限り不公平感の無い分担金の算定基準となるよう努めます。

意見 放課後児童クラブについては、子どもたちの安全確保のため、早期に学校敷地内で運営ができるように努められたい。

その後

現在、放課後児童クラブを運営している12カ所のうち、公営10カ所が小学校敷地内、民営2カ所が小学校に近い場所で実施し、小学校から放課後児童クラブまでの移動は、支援員が同行・見守りするなど、安全確保を最優先に適切な対応に努めています。現在、かしのき苑内で実施している「かしのき放課後児童クラブ」については、令和3年度中に精華台小学校の空き教室を活用し、移転開設する予定としています。今後も、利用する児童が安全に安心して利用できるよう放課後児童クラブの設置場所については引き続き検討していきます。

意見 ごみのポイ捨て防止対策に、定点観測場所を増やすなど、啓発活動を含め有効な手段を図られたい。

その後

定点観測については、今年度から新たに観測場所を増やしたり、ごみのポイ捨てが減少した場所からごみのポイ捨てが続いていると情報を得た場所に観測場所を移すなど、状況を確認しながら、より有効な対策を講じてきています。今後も、広報誌やホームページなども活用し、啓発を続けていきます。

意見 イノシシの被害が増加傾向にあり、住宅地にも出現している。人的被害や事故防止に捕獲等の有効な対策を図られたい。

その後

国の鳥獣被害防止総合対策事業を活用し、地域協議会を通じた侵入防止柵設置による防除対策や、相楽郡猟友会精華台支部の協力を得て「わな」や「銃」による捕獲対策を年間を通じて実施しています。これらのとりくみで被害が大きく減少しているものの、依然として被害が報告されることから、引き続き取り組みを進めます。

議会の意見が どう反映されたか

2年度9月会議での元年度決算審議の意見が、3年度予算編成にどのように生かされたのか、町に回答を求めました。

「施策評価の提言」に対する行政の対応

予算決算常任委員会で、令和元年度決算認定にあたり、施策項目のなかから2施策を抽出して「施策評価」を行い町長に提言しました。なお、施策とは、各事業を大きく各分野別に分けた取り組み。(議会だよりNo171号7ページに提言内容を掲載)
3年度の予算編成にあたり「提言」に対する対応状況の回答は以下の通りでした。



地域福祉施策の総括

さまざまな地域福祉課題対応に、包括的な支援体制の整備や社会資源の相互活用が重要で、多機関が連携・協働する体制の整備が必要です。新たな社会資源の創出や介護、障害、子育て、生活困窮に係る相談支援体制の機能強化が図れるよう、新たに実施される「重層的支援体制整備事業」の実施に向けた取り組みを推進します。

社会福祉推進事業

避難行動要支援者登録制度は、災害時の迅速な避難支援が目的で、引き続き、周知啓発を図り未登録者に対しての情報提供を行い各地区的自治会や民生児童委員などと連携し個別支援計画の整備を進めます。

福祉人材・ボランティア育成支援事業

町社協のボランティアセンターと連携し、ボランティア団体の活動内容の把握や支援に努めます。また、手話・朗読・点字などの養成講座を開催し、ボランティアの人材育成に努めます。障害者差別解消法に基づく合理的配慮の実現を目指して、その環境整備を図ります。

地域支え合い体制づくり事業

包括的な支援体制の整備に向け、絆ネットコーディネーターや生活困窮者相談員を引き続き配置します。ひとり親や生活困窮者家庭の中高生、ひきこもり状態にある人の、居場所づくりを進め、学習支援や社会参加の支援を推進します。自殺予防対策は、「いのちの電話相談」を引き続き開設し、ゲートキーパー養成講座の開催で、人材の育成に努めます。

地域福祉センター施設運営事業

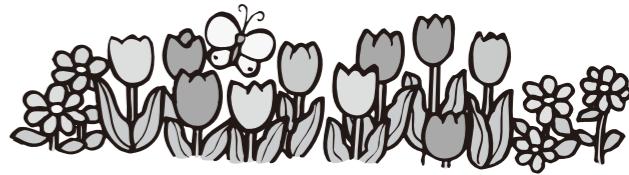
改修工事期間中も含め、かしのき苑利用者の安全が確保できるよう環境整備に努めます。また、施設の改修を計画的に実施し、施設の整備、機能の充実を図っていきます。

公共的活動支援施策の総括

各地域において多くの公共的活動が実施されるなか、活動助成制度などの活動支援の機能の充実が求められています。一方、職員の対応不足などがあります。既存事業の見直しと、機能の充実に努めます。今後は小学校区単位のコミュニティ協議会設立の機運醸成に取り組みます。なお、「新たな生活様式」に対応した公共的活動のあり方は、未だ最適解は見通せませんが、感染症対策やICTの活用に支援を行えるよう検討します。

きれいなまちづくり運動推進事業

「花いっぱい運動」は、まちづくりの目的に沿った内容とするため、活用実態や制度見直しについてのアンケートを実施し、結果をふまえた上で実施内容等、精査していきます。



公共的活動推進事業

コミュニティ助成事業は、制度の周知に努め活用に向けた相談には、募集期間に関わらず支援に努めます。

採択数は町に裁量がありませんが、府を通じ、必要性を訴え、府地域交響プロジェクト交付金など、他の助成制度の情報提供を行います。

まちづくり条例に基づく補助金

助成の内容は、コミュニティ活動及び自主防災活動が主となっています。条例趣旨のまちづくり提案を実現するには、建築物等や土地の区画形質変更などに配慮を定めた、まちづくり協定の締結が重要で、現在の条例や施行規則の改正も含め、どのような在り方が適切かを現在検討中です。

議会だより 168号より
(R2.5.1発行)

一般質問のその後を追う どこまで進んだの!?

学校におけるがん教育の推進を積極的に

その時の答 命の大切さ尊さ、健康や人生について考える教育に取り組む。

その後現在は ……

医師等外部講師の活用を含めたがん教育の充実については、学校にも周知を図りましたが、今年度は、コロナ禍のため、外部講師による出前授業の実施は難しい状況でした。医師やがん経験者からの話を聞くことは、がんについて主体的に考える機会でもありますので、来年度も外部講師の活用につきましては、状況を見ながら計画し、がん教育の推進に取り組んでいきたいと考えています。

(教育支援室)

防災食育センターの今後のスケジュールは

その時の答 令和5年度のできるだけ早い時期に実施する。

その後現在は ……

防災食育センターについては、令和3年度から建築工事に着手し、令和5年度の4月末頃に工事を完了する計画です。その後、設備の試運転や実際の給食調理など、事前準備を行った上で、令和5年度の2学期から中学校給食を開始する予定です。防災受援施設と健康総合拠点施設については、防災食育センターの整備完了後に、具体的な整備の取組を進めていきます。

(学校教育課)



移動図書館サービスは

その時の答 当面は維持し向上のため検討する。

その後現在は ……

令和2年度には、移動図書館車の現在の利用実態や他館の事例を調べ、全町的な図書館サービスを考えた中での今後の運行について、検討を行った。また、定期的なメンテナンスを行い、継続的な運行に取り組んでいる。移動図書館車の広報として、2020年6月号から『華創』の巡回日程を地域(場所)ごとの表記とし、見やすく変更した。

(生涯学習課)

リモートで まなび・生かす

議員研修会

研修内容	研修日	研修場所	講師
「議会は住民の中に ある!」 『議会改革の取組』 （リモート）	○令和3年2月10日	○精華町役場6階 第1委員会室	西脇市議会前議長 林 晴信氏
「議会改革とは、『市 民のみなさんにとって 良い政策づくり』すな わち、住民からの信頼 を得られるかというこ とを具現化するために とつて、良い政策づくり」すな れど、議会改革とは、「市 民のみなさんにとって が緊急事態宣言中でし たので、やむを得ず、 リモート研修となりま した。西脇市議会の目 指す議会改革とは、「市 民と議会が、お互いに 理解しあえるよう取り 組んでいかなければな らない。 研修を終えて、次の 研修内容	○令和3年2月10日	○精華町役場6階 第1委員会室	西脇市議会前議長 林 晴信氏
「議会改革の取組」 （リモート）	○令和3年2月10日	○精華町役場6階 第1委員会室	西脇市議会前議長 林 晴信氏
「議会改革の取組」 （リモート）	○令和3年2月10日	○精華町役場6階 第1委員会室	西脇市議会前議長 林 晴信氏



お知らせ

■次回、令和3年度定例会6月会議は、令和3年6月14日(月)からはじまります。

6月会議に、請願・陳情・要望書の提出をされる方は令和3年6月4日(金)午後5時までに、精華町議会事務局(町役場6階)へ提出してください。

あなたも議会を傍聴しませんかインターネット中継をご覧ください。

◆日程については議会事務局へお問い合わせください。TEL:95-1908 FAX:95-3972 E-mail:gikai@town.seika.lg.jp



議会だより・会議録が「精華町議会」ホームページより検索できます。

<http://www.town.seika.kyoto.jp/gikai/>

●目の不自由な方のため、朗読ボランティア「ひびき」の皆さんのが本誌を朗読したテープを精華町社会福祉協議会事務局(TEL.94-4573)と町立図書館で貸し出しています。

せいか議会だより(No.171・2021年2月1日発行・12月会議)で掲載しました内容について、

次の誤りがありました。お詫びして訂正いたします。

▼2ページ 11月特別会議、条例改正 【正】町職員の給与に関する 【誤】町職員の給料に関する

▼6ページ 賛否の分かれた議案 町職員の給与に関する条例 【正】結果:可決 【誤】結果:否決

正誤表

ギャラリー Gallery Hana

精華西中学校
生徒の作品



跳



1年 木色 萌々

検温とマスク



2年 木元 愛梨

手を洗おう



2年 辰浦 勝

龍



1年 吉川 周汰

花



1年 森川 恵滿

食事中の対面禁止!!



2年 松本 歩夏

表紙写真に“ひとこと”

パイズオルパンを奪てる

○撮影日：令和3年3月20日（土）

○撮影場所：精華町交流ホール

○撮影者：企画調整課

編 集 後 記

今年は例年より早く桜の開花宣言がなされ、すでに新緑の季節となりました。

本町議会も3月会議が無事終わりました。中学校給食をふまえた予算も組み込まれ、また、新型コロナウイルス感染症対策予算も多く含まれています。

また、ワクチン接種も開始され、少しずつではありますが、日常生活を取り戻す動きがみられます。もう少しの辛抱です。ストレスを溜めすぎないようにして、ご一緒に乗り切りましょう。

皆様に親しまれる紙面をつくるため、ご意見、ご要望をお待ちしています。